

令和元年度一般社団法人音楽電子事業協会 事業報告
(理事会 幹事会 運営委員会)
(平成 31 年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 31 日まで)

(1) 理事会/幹事会の開催

平成 31 年度第 1 回理事会/幹事会 (平成 31 年 5 月 16 日開催)

- ・平成 30 年度 収支決算承認及び総会への付議承認
- ・平成 31 年度 収支予算 (案) 承認及び総会への付議承認
- ・平成 31 年度 役員選任の件

(2) 理事会

第 2 回 理事会 (令和元年 12 月 6 日 開催)

- ・令和元年度 事業活動中間報告(各委員会状況)
- ・令和元年度 今期着地見込み及び来期計画策定に係る要素について(報告)

(3) 運営委員会

令和元年度 運営委員会 (令和 2 年 2 月 20 日開催)

- ・令和元年度事業報告が各委員会から報告された。
- ・令和元年度収支着地見込みが事務局より提案、検討された。
- ・令和 2 年度事業計画案 (委員会別) が各委員会より提案、検討された。
- ・令和 2 年度事業計画案に基づき、令和 2 年度予算案が検討された。
- ・令和元年度第 2 回幹事会/第 3 回理事会及び第 9 回通常総会の予定が案内された。

(4) 理事会/幹事会の開催

令和元年度第 2 回幹事会/第 3 回理事会 (令和元年 3 月 18 日メール審議)

- ・令和元年度 事業報告
- ・令和元年度 収支決算 (着地見込)
- ・令和 2 年度 事業計画 (案)
- ・令和 2 年度 収支予算 (案)
- ・令和 2 年度 役員選任 (案)
- ・定款の変更について
- ・第 9 回通常総会・懇親会開催の件

令和元年度一般社団法人音楽電子事業協会 事業報告
(専門委員会)
(平成31年4月1日より令和2年3月31日まで)

(1) 製品安全・環境委員会

安全規格部会(4回)、環境問題研究部会(4回)外部委員会出席(JEITA マルチメディア EMC 専門委員会、JBMIA 第108委員会、電気用品調査委員会電波雑音部会、電気製品認証協議会)

事業報告

両部会による情報収集及び情報提供を通じて、会員各社製品への製品安全及び環境問題対処活動に活かすことができた。

主な情報交換の要点は次の通り

- ・ 安全規格
 - ・ IEC62368-1 第3版の E2 (アンプ通常動作状態) 改定提案
 - ・ 日本: JBMIA 第108委員会出席報告
 - ・ 日本: 電安法の規格更新、対象・非対象事例など
 - ・ 英国: BREXITに伴う CE マーク代替 (UKCA マーク)
 - ・ 中国: CCC 認証免除手続き
 - ・ 中国: AC アダプタ非同梱製品への要求
 - ・ 中国: 国家監督抜き取り検査計画
 - ・ 中国: 消費者用製品 国家規格作成計画
 - ・ 中国: 安全認証にけるロボットの扱い
 - ・ 韓国: 二次リチウム電池の安全基準改正
 - ・ インド: BIS 登録 二次電池規格
 - ・ メキシコ: NOM 認証書への HS コード表記要求
 - ・ アルゼンチン: ヘッドホン安全性警告の提案
 - ・ サウジアラビア: 製品安全 SABER システム フェイズ II
 - ・ モロッコ: 安全規格と適合マーク及び期限延長
- ・ EMC
 - ・ CISPR35 の審議状況
 - ・ 日本: JEITA マルチメディア EMC 専門委員会報告
 - ・ 日本: 無線機器に関する規制の一部改正
 - ・ 欧州: EMC 指令・無線機器指令のガイド
 - ・ 中国: SRCC 無線送信機器販売記録の実施弁法
 - ・ インド: 無線認証 (ETA) の免除
 - ・ モロッコ: EMC 技術規則と適合マーク

その他

MIDI2.0 概要

SDGs と製品安全

・ 環境関連

・ 欧州

RoHS2：適用除外期限（パック 9）

次期制限物質について情報収集（パック 15）

REACH：ANNEX XVII 鉛規制範囲の拡大

ErP Lot7 改定進捗確認 2019/10/25 付官報公示

SCIP の概要報告

使い捨てプラスチック製品規制

・ 中国

RoHS：強制品目確定（目録公開）合格評定制度の解説

GBT 楽器有害物質制限の紹介

・ 米国

州別難燃剤規制の動向報告

Ca 州難燃剤規制（規制値の確定）

・ 日本

容器包装リサイクル法省令改正（レジ袋の扱い）

プラ袋有料化ガイドライン

・ その他

CITES COP18（ローズウッド使用楽器の扱い）

カナダ Formaldehyde 規制の進捗報告

EEU ロシアの規制動向

サウジ生分解性プラ規制の紹介

その他特記事項

EU ErP Lot7（外部電源）の改定が 2019/10/25 付けにて官報公示されました。これにより欧州と北米とで異なる要求となっていた IEMPLEVEL が level 6 に統一されます。また、現行 Lot7 の要求仕様（無負荷時待機電力）が足かせとなり改定が滞っている Lot6（standby&off-mode）についても進むものと考えています。

(2) MIDI 規格委員会

委員会 1 回、1.0 部会メール審議、2.0 部会定例 6 回、臨時 5 回、FME-CI WG 2.0 部会と同
時開催

事業報告

- ・ MMA/AMEI 共同で、MIDI 規格が 38 年ぶりに更新され、MIDI2.0 として実装作業を進めていくことを発表。
- ・ 12/15 に上野国立科学博物館にて開催の「電子楽器 100 年展」で「MIDI の現在と未来がわかるセミナー」開催。MIDI2.0 について講演。音楽電子事業協会の役割、MIDI 規格委員会の活動を説明。MIDI2.0 の世界では、これまで実現できなかった新しい価値を提供。デモンストレーションでは、実際に MIDI2.0 によって接続された異なるメーカーのハードウェアによる日本初の接続実験が披露され、さらにシステムエクスクルーシブ ID 会員として、つくば科学株式会社が開発した MIDI による稲妻演奏システムを紹介。
- ・ MusicChina2019 にて MIDI2.0 について講演。多くの人に参加されネット中継も行われた。AMEI 代表として音楽コンテスト表彰式のプレゼンターも務めた。
- ・ NAMM の MMA 総会にて MIDI2.0 接続デモを実施。MMA では一般向けセミナーが開催され多くの参加者が集まった。
- ・ MMA の Tom White 会長が辞任。MMA の運営体制が大きく変わることとなった。
- ・ 2 月 25 日に MIDI2.0 規格の正式発表と規格ドキュメントのリリースを行う。

【MIDI1.0 部会】

- ・ TSB #215 (TRS コネクター) について、市場における調査を実施。

【MIDI2.0 部会】

- ・ Universal MIDI Packet (UMP) Format & MIDI2.0 protocol 審議：
MIDI2.0 部会内で仕様書のレビュー、フィードバックを実施。
11 月に「Universal MIDI Packet (UMP) Format & MIDI2.0 protocol v0.43」のレビューとフィードバックを提出、MMA にて最終仕様書にて修正する箇所を示したリストも確認し、MIDI2.0 部会として承認。
12 月、MMA で Voting を実施、承認。
- ・ MIDI2.0 ロゴ開発：
先期末の MMA M2M(MIDI2.0 Marketing) WG からの提案より、MIDI2.0 ロゴ開発を共同で実施。
 - ① デザインについては M2M WG に一任するというスタンスとし、MIDI2.0 の世界観と大きな齟齬がないか、また、製品に印刷可能かどうかという観点でレビューを実施。継続中。
 - ② MIDI2.0 ロゴをつけるためのガイドラインに関して、M2M WG と議論を実施。継続中。
- ・ MIDI2.0 Specification 検討・審議：

MIDI2.0 を構成する各種仕様書の定義。下記の 4 つの仕様書と定義

1. MIDI Capability Inquiry (MIDI-CI)
2. Common Rules for MIDI-CI Profiles
3. Common Rules for MIDI-CI Property Exchange
4. Universal MIDI Packet (UMP) Format and MIDI 2.0 Protocol

MIDI2.0 の要求仕様として、MIDI-CI を必須とし、Profile, Property Exchange, MIDI2.0 Protocol のいずれかの仕様を満たすことで承認。

・ MIDI2.0 Protocol プロトタイピングの実施とイベントでのデモ：

ヤマハ、ローランド、コルグ 各社にて MIDI2.0 Protocol プロトタイピングを実施

12 月 15 日、「電子楽器 100 年展」AMEI による MIDI セミナー開催
この場で MIDI2.0 Protocol プロトのデモンストレーションを実施。

2020 年 NAMM の MMA AGM にて、ヤマハ、ローランド、コルグ 3 社
による MIDI2.0 Protocol プロトのデモンストレーションを実施。UMP
MIDI2.0 Protocol メッセージを受信し、Per Note Pitch、Note On
Attribute の効果を体感していただいた。

【FME-CI (Future MIDI Expansion Capability Inquiry) WG】

当 WG では MIDI-CI 関連の企画に関する議論とプロトタイピングを行ってきた。
特に MIDI-CI については当初 MIDI2.0 プロトコルとは別テーマとしてスタート
したが、MIDI2.0 システムを一体として審議するようになり、MIDI2.0 部会と
議論を統合させていった。

対外的には、1/19 に MIDI2.0 プロトタイピングについて、6/10 に MIDI2.0 審議
状況について告知。また、国立科学博物館のイベント「電子楽器 100 年展では
12/15 「電子楽器を学ぶ特別講座」にて MIDI2.0 の紹介を他部会と共同で実施。
集中的な取組の結果、MMA とともに議論をまとめ、2020 年 1/19 の MMA の年次総
会では、以下の規格の承認を得、AMEI でも承認の予定。

MIDI 2.0 Specifications Overview

MIDI Capability Inquiry (update)

Universal MIDI Packet & MIDI 2.0 protocol

Common Rules for MIDI-CI Profiles

Common Rules for MIDI-CI Property Exchange

総会後のテクニカルセッションでは AMEI も参加し、MIDI2.0 プロトコルに
よる新たな楽器の演奏表現デモを実施。

加えて、同時期に開催された NAMM ショーの機会を利用し、Apple/Microsoft
/Google に対し、AMEI 名で MIDI2.0 の OS サポートを要求した。業界からの
要請行動としてあらたな取組みとなった。

(その他報告)

MusicChina2019 ツアーを実施

上海国際 MIDI フォーラムにて AMEI の紹介と MIDI-CI and MIDI2.0 system についてセミナーを実施。

NAMM2020 ツアーを実施

NAMM における AMEI/MMA 会議開催、MMA 総会参加

今年度はヤマハ、ローランド、クリムゾンテクノロジーの 3 社、8 名が参加。

AMEI/MMA オフィシャルミーティングならびに MMA 総会に参加。

MMA 総会の Technical Session にて、MIDI 2.0 について AMEI 接続デモ実施

(3) Trademark Working Group

Working Group(以下、「TM-WG」): 計 3 回 10/25・11/8・12/5 に開催

その他メールベースで都度の情報共有をしている

MIDI2.0 の商標化、運用等についての協議体に参画。

10/1・11/26・12/23・1/27 の MIDI2.0 部会に出席

事業報告

- ・MIDI2.0 ロゴおよび既存の MIDI1.0 ロゴの商標的な取り扱いについて検討。
- ・MMA の M2M WG によるロゴの再デザイン依頼について共有。継続的に経過を観察。
- ・AMEI における商標的な使用ガイドラインの作成について準備中。

(4) 著作権・ソフト委員会

著作権・ソフト委員会: 定例会 9 回(詳細別記)

毎月の委員会定例会を通じて情報提供、意見交換、決議を実施。

カラオケ部会: 計 3 回

一般社団法人日本音楽著作権協会(以下、「JASRAC」)・株式会社 NexTone

(以下「NexTone」)との使用料に係る協議(各 1 回)および実務者検討会(1 回)

音楽配信部会: 計 12 回

定例会(9 回)、JASRAC との協議(1 回)、NexTone との意見交換(2 回)

ネットワーク音楽著作権連絡協議会(以下、「NMRC」)を通じて音楽著作権管理事業者との使用料協議、関連団体との意見交換を実施。

ソフト規格部会: 計 5 回(WG 開催含む)

定例会および GCP-WG(同日開催、4 回)、海外ビジネス展開 WG(1 回)。

電子楽器に係わる知財保護、海外のビジネス等に関する調査研究を実施。

音楽電子出版部会: 計 7 回

定例会(7 回)、電子楽譜に関わる市場動向調査・新規ビジネス提案企業からヒアリング実施。

一般社団法人著作権情報集中処理機構(以下、「CDC」)との連携

オブザーバーとして委員会定例会出席と NMRC 協議等に参加要請実施。

早稲田大学創造理工学部 AMEI 連携講座を開催(2019 年 10 月から半期)

事業報告

(全体)

- ・MIDI2.0の規格化準備が進む中、ソフト制作および知的財産の観点からTM-WGへの参加を始めMIDI規格委員会への協力を強化した
- ・著作権法「柔軟な権利制限規定」(H.31.1.1施行)について、業界としてのガイドライン作りの観点から各社との情報共有、検討を実施した。

(部会)

【カラオケ部会】

- ・JASRACとの使用料規程第10節「業務用通信カラオケ」の改訂に関する検討。
-他の管理事業者管理分の反映に関する提案を12月に受け、今期(2月)中に合意を目指す
- ・NexToneとの使用料規程の取扱いに関する協議。
-当協会加盟カラオケ事業者が締結する利用許諾契約について、以下のそれぞれの期間につき、暫定的な取扱いについての合意を各々形成し、かかる合意書を各々締結。
 - ① 2018年7月1日～2018年9月30日(先期中に合意)
 - ② 2018年10月1日～2018年12月31日
 - ③ 2019年1月1日～2019年3月31日
 - ④ 2019年4月1日～2019年6月30日

【音楽配信部会】

<対JASRAC>

- ・購入音楽データの「お預かりサービス」、延長について合意。
- ・サブスクリプションサービスにおける「下支え金額の設定」「共有機能の定義」「音声+映像の場合の許諾単位の取り扱い」の各問題についてNMRCを通じ協議実施
- ・音楽電子出版部会と連携し、可視的利用に関する規程及び取り扱いの検討継続

<対NexTone>

- ・「PlayNシステムマニュアル」「インタラクティブ配信利用ガイド」「配信報告入力フォーマット」等について、NMRC実務WGを通じて具体的なブラッシュアップを実施

<部会全体>

- ・以下の情報共有を実施した
 - ① NMRCとJASRAC・NexToneとの協議状況、②JARAC送信部の動向・セミナーの内容および③JASRACおよびCDCの報告実務

【ソフト規格部会】

<ソフト規格部会およびGCP-WG(同日開催)>

- ・著作権に関する調査研究、ビジネスに係る知財情報の共有
 1. 音楽教育を守る会とJASRACとの訴訟、2. 文化審議会著作権分科会での審議内容
 3. 改正著作権法(著作物の軽微利用)に関する事例研究、4. MIDI2.0に関する議論
- ・電子楽器内蔵コンテンツ等の保護に関する検討
 1. 違法複製/頒布などコンテンツ侵害事例と対処例の情報交換
 2. 「AMEIは電子楽器内蔵コンテンツについてこう考えます」の改訂検討

<海外ビジネス展開WG>

- ・EUの管理団体動向の調査
 - Google・YouTubeに影響する改正著作権法指令第11条・第13条について
(影響の大きい英国のEU離脱問題によりWGの開催を見合わせ)

- ブロックチェーンによる各国著作権団体や市場動向の調査

【音楽電子出版部会】

- ・今後の電子楽譜サービスの研究のため、現在提供中のサービスの比較研究、および一部サービス責任者の部会招聘を実施
- ・MusicXML を次世代楽譜として位置づけることの議論を行った

【TM-WG】

- ・MIDI2.0 のスコープ、およびそのロゴの制作経緯についてレビューを実施した
- ・商標化の目的、意義の確認と効果的な出願戦略について検討した

その他 早稲田大学創造理工学部連携講座「国際コンテンツビジネスと著作権」開催

委員会定例会 開催日・議事一覧

日時	主たるテーマ	備考
① 4月11日 (13:30~15:00)	1. 事務局および各部会報告 ・ 部会長人事 ソフト規格部会: 稲場 達也氏 (株式会社河合楽器製作所)、音楽電子出版部会: 樽谷 学氏 (株式会社ヤマハミュージックエンタテイメントホールディングス) それぞれ部会長就任	
② 5月9日 (13:30~14:30)	1. 事務局および各部会報告	5/16 AMEI 第8回通常総会 5/20 CDC 創立10周年記念レプション
③ 6月13日 (13:30~14:00)	1. 事務局および各部会報告	定例会後、MIDI規格委員会によるMIDI2.0の説明会開催
④ 7月11日 (13:30~14:30)	1. 事務局および各部会報告	
⑤ 9月12日 (13:30~15:00)	1. 事務局および各部会報告	
⑥ 10月10日 (13:30~14:30)	1. 事務局および各部会報告 2. AMEI委員会横断でTM-WG発足 3. 当委員会主催 忘年懇親会準備TF立上げ	・ Music China 2019 (10/10-13@中国・上海)
⑦ 11月14日 (13:30~15:00)	1. 事務局および各部会報告 2. TM-WG報告	
⑧ 12月12日 (15:30~16:00)	1. 事務局および各部会報告 2. TM-WGリーダーに堀江副委員長が就任	・ 忘年懇親会実施 (参加約50名)
⑨ 2年2月13日 (13:30~15:00)	1. 事務局および各部会報告 2. 音楽配信部会報告	・ NAMMshow 2020 (1/16-19@米国 L.A.)

(5) 普及委員会

1. MIDI 検定事業

【令和元年度 MIDI 検定試験】

2 級 1 次、3 級筆記試験 (12 月 1 日実施)

受験者数 472(525)名 (3 級)、118(138)名 (2 級 1 次)

合格者数 303(276)名 (3 級)、73(96)名 (2 級 1 次)

1 級試験 (8 月 9 日～19 日実施)

受験者数 33(40)名

合格者数 16(26)名

2 級 2 次試験 (令和 2 年 2 月 15 日～17 日に実施予定)

受験者数 52(71)名

【令和元年度指導者認定講座】

4 級指導者認定講座の実施

東京 5 月 12 日 : 9(15)名

大阪 5 月 19 日 : 10(6)名

3 級指導者認定講座の実施

東京 7 月 14 日 : 11(11)名

大阪 7 月 21 日 : 7(7)名

2 級指導者認定講座の実施

東京 9 月 15 日 : 10(10)名

大阪 9 月 22 日 : 6(6)名

※()内は昨年実績

2. イベント事業

国立科学博物館主催の電子楽器 100 年展(12/3～15)において

MIDI 規格委員会・広報委員会と協力し、AMEI セミナーを企画・運営。

12 月 15 日(日) 電子楽器セミナーPart.2 「MIDI の現在と未来がわかるセミナー」

【その 1】 一般社団法人日本音楽電子事業協会(AMEI)について
&MIDI 規格の主な歴史】

【その 2】 次世代の MIDI について

【その 3】 MIDI 検定&エクスクルーシブ ID 会員について

のプログラムを実施。満席での開催となりました。

<http://www.amei.or.jp/midi2020.html> に、セミナー動画を掲載。

2. その他

MIDI2.0 規格書の発行について AMEI/MMA にて世界同時プレスリリースを 2/25 に
行う。プレスリリース関連告知の為、DTM ステーションに記事広告を掲載。

(6) 広報委員会

- 会報「AMEI News」編集会議 3回（6月27日、9月19日、1月29日）
- セキュリティー強化対策の検討会議 1回（7月24日）
- サステナビリティ強化対策の検討会議 1回（11月28日）
- 会報『AMEI News』発行 3回

- ◆ Vol.68 2019年 6月17日 発行
 - ・ 第22回NAMMビジネスツアー報告
 - ・ MIDI規格委員会 MIDI2.0部会報告
 - ・ 普及委員会 MIDI検定試験実施結果報告
 - ・ AMEI会員名簿・2019MIDI検定告知・System Exclusive ID会員募集 等
- ◆ Vol.69 2019年 8月30日 発行
 - ・ 一般社団法人音楽電子事業協会第8回通常総会報告
 - ・ 令和元年度事業計画
 - ・ 令和元年度役員名簿・組織図
 - ・ 国立科学博物館「MIDI技術の系統化調査」報告
 - ・ 一般社団法人著作権情報集中処理機構(CDC)設立10周年報告
 - ・ AMEI会員名簿・第8回通常総会議事録の開示報告 等
- ◆ Vol.70 2020年 1月31日 発行
 - ・ MIDI規格委員会 Music China2019報告
 - ・ MIDI規格委員会 Music China 上海国際MIDIフォーラム報告
 - ・ 普及委員会 国立科学博物館 電子楽器100年展報告
 - ・ 著作権・ソフト委員会「柔軟な権利制限規定」による著作物利用機会の拡大報告
 - ・ AMEI会員名簿・MIDI検定2級2次試験開催のお知らせ

- AMEI ホームページ運営
 - ・ 委員会からのお知らせ
 - ・ AMEI NEWS
 - ・ AMEI 出版物
 - ・ 仕様書ダウンロード
 - ・ 会員専用ページ
 - ・ What's new、information

- セキュリティー強化
 - ・ 個人情報の取扱状況確認 等